

審査から

令和3年度 一般会計・特別会計決算、 令和3年度 下水道事業会計・病院事業会計決算を審査

本定例会では、決算についても各常任委員会で審査しました。各常任委員会では活発に質疑が行われ、決算審査の結果「認定すべきもの」と決し、多数の意見が付されました。

健康福祉

9月9日・12日・16日・30日に議案7件、認定2件の審査を行いました。

町田市民病院使用条例の一部を改正する条例について

委員 非紹介患者加算料だが、何年かたち、患者さんのどのぐらいが利用しているのか。今回2000円上げるということだが、その狙いを伺いたい。

医事課長 18年から導入された選定療養費ですが、18年に6605名の方がお支払いいただいていたということ。19年は4702名、20年が2976名、21年は3196名、22年度は4月から7月の途中の経過になりますが、今のところ、1286名の方がお支払いいただいているところ。狙いですが、選定療養費自体は200床以上の大病院と地域の医療機関、クリニックの機能分担、それから業務連携を図るための措置として、地域医療支援病院であれば対象になるというものです。

委員 地域のかかりつけ医で市民病院などの紹介状を書いてもらうときは、医療の点数というのか、お金はかかるか。

医事課長 診療報酬の中に紹介状を書いていただくということでは250点というのがあります。10掛けしますので大体2500円です。それに保険がかかり、3割の方だと750円ぐらいかかると思います。

委員 非紹介患者加算料が値上がりすることで周知していると思うが、反応というか、何か感じているものがあるか。

医事課長 院内掲示、アナウンスをさせていただいていきます。今のところ、特に反応というのか、ご意見というのはいってこない状態です。

総務

9月9日・12日・16日に議案16件、認定1件の審査を行いました。

町田市職員の定年引上げに関する議案について(第70号議案から第76号議案を一括審査)

委員 60歳以降の雇用と年金の継続性の問題で、いわゆる生活関連手当は、どのような取扱いになるのか。

職員課担当課長 例えば、地域手当は7割になり、時間も、7割になります。通勤手当とかについては、そのままという形になると思います。

委員 本人の意思によって退職するかしないかという話になってくると思うが、これは23年の4月1日以降の施行だと思いが、その後、どういった流れで本人の意思を確認していくのか、また、その人数、希望状況によっては24年の新規の採用についても変わってくると思うが、その辺のスケジュール感をお知らせいただきたい。

職員課担当課長 施行は4月1日になるが、23年の採用試験等の影響がありますので、3月末であるとか4月の早い段階で、24年の4月に60歳を超える方々に対して、こちらの制度の説明であるとか、意思確認を行っていきたくと考えています。

委員 部長級の方々が退職されると課長級でいる方々が多いが、これが採用されると、みんな係長級になるといって、これまでの制度と変わってくるということか。

職員課担当課長 今、部長級の方が再任用職員になった場合には課長職になります。この制度が始まった後は部長職であったとしても係長職まで落ちるとい形になります。

決算審査（健康福祉） 認定すべきものと決定

- 市民後見人育成事業における成果指標の定義を「累計」登録者数としているが、登録を取り消す市民後見人が一定数いらっしゃる。評価シートの「その他成果の説明」欄に、年度末時点における市民後見人の登録者数および受任者数を記載し、事業の実態をより正確に示すよう努められたい。
- せりがや会館事業の各利用機関への対応にあたり、親の会の活動の場や市の施策との関係性等、これまでの経緯を踏まえた協議検討を行い、利用団体の活動に支障がないよう丁寧な対応に努められたい。
- 今後見守りが必要な方が増加するにあたり、見守りの在り方について、庁内他部門との連携やテクノロジーの活用等検討されたい。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた生活困窮者に対して、丁寧に聞き取り相談をしながら、自立に向けた支援につなげられたい。また、ケースワーカーなど生活支援課の職員体制の強化を図られたい。
- 災害時の緊急医療救護所の医療品確保のためのランニングストック方式による備蓄においては、期限切れなどによる廃棄処分を無くすとともに、備蓄量に応じた実在庫を維持する必要があることから、医療機関と連携し、その確認方法や頻度において検討されたい。
- 健診未受診の方の中にはネグレクト等も考えられるため、健診未受診の方の理由の確認に努められたい。
- 両親学級については、全ての講座が父親にとっても母親と同じように大切なものであり、開催日時や開催場所、開催形態等について見直しを行い、全ての講座で父親の出席率が母親同等となるよう努められたい。
- 国民健康保険税の滞納者に対する資格証明書は、病気等の命に関わる緊急時には、速やかに保険証を交付されたい。
- 町トレ参加者とその団体をさらに拡大し、介護対象者の増加防止を図られたい。

【認定第3号】

- 院内保育については、何年も定員に対し利用者が少ない状況が続いていることから、子育て家庭からの希望の多い、病院利用者の子どもの受入れを実施されたい。
- 紹介状なしで市民病院を受診する際に初診料と別に徴収される「非紹介患者加算料(選定療養費)」については、地域のかかりつけ医との機能分担を図る目的であることを市民に十分周知する工夫を継続して努力されたい。

など計48件の意見を附帯決議として付しました。

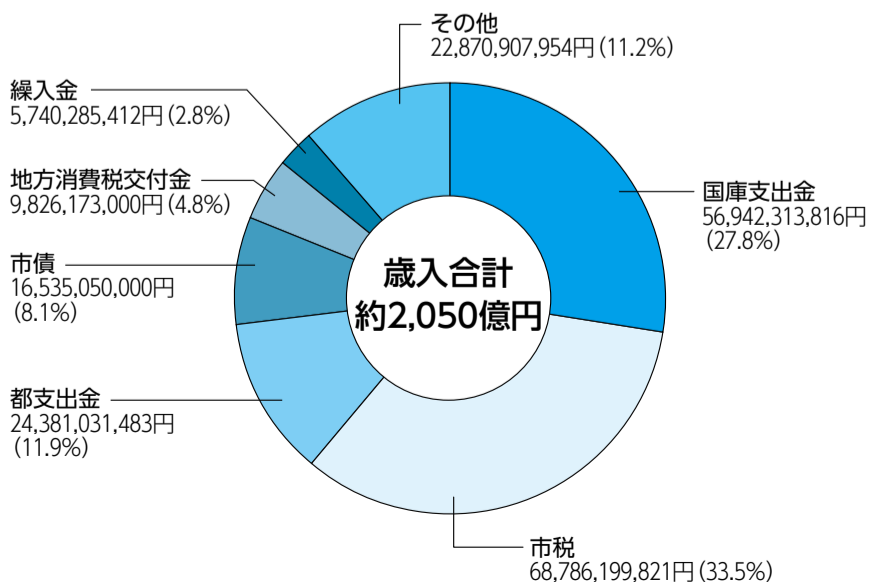
決算審査（総務） 認定すべきものと決定

- 適正な予算執行のために、流用・不用額の原因が発生した場合には早期に補正予算を組むように努められたい。
- ふるさと納税については、市民税控除額と町田市への寄附額の差額が開かぬよう、町田市への寄附が進む方策を講じられたい。
- 老朽化する公共施設等の維持保全経費は、優先順位をしっかりと行い、物価や資材価格の状況を勘案しながら柔軟に対応されたい。
- 2050年ゼロカーボン達成のため、市庁舎を含む公共施設に太陽光発電施設の設置を進め、公共施設の電力使用量における再生エネルギー比率100%を達成できるよう取組を進められたい。
- 市の所有する車両については、市場価格を考慮した上で適正価格での売却をするなど、売却時期・買い替えのタイミング・リースへの変更等、よりメリットが出るよう図られたい。
- 市有財産は市民の財産でもある。土地なども売却ありきではなく、庁内で有効活用できるよう、慎重に検討すべき。
- 時間外労働については、月45時間、年360時間までの原則を守られたい。特に、年720時間を超える職員が出ないよう徹底されたい。
- 工事請負契約並びに物品購入契約の市内事業者受注率を引き上げられたい。
- 新聞購読者の減少に伴い、広報紙発行の行政費用も減少しているとのことだが、デジタルペイパイド対応のためにも、より多くの市民に広報紙が届くように引き続き努められたい。
- 出前講座等の啓発活動を、より効果を高めるように努力されたい。
- 生鮮宅配ボックスの市内産農産物の利用率等、詳細データの取得に努め、それを公表されたい。
- 町田ターミナルプラザ事業及びプラザ町田事業について、ここ数年、大幅な赤字事業となっている。近年の財政状況を鑑み、事業赤字による財政支出を抑えるよう、抜本的な事業改革に取り組まれたい。
- 原町田大通り滞留空間の整備については、社会実験に対する周辺事業者や地権者の声を尊重されたい。
- 年間400を超える起業した事業所に対し、起業後の企業支援も続けられたい。
- まちなかシネマの上映映画の選定に当たっては、アンケート等の結果を踏まえ、より多様なニーズに応えられるよう努められたい。

など計52件の意見を附帯決議として付しました。

令和3年度 歳入決算額の内訳(一般会計)

歳入合計額
205,081,961,486円



令和3年度 歳出決算額の内訳(一般会計)

歳出合計額
195,896,136,411円

